

■ハーディーホールへのアクセス■地下鉄今出川駅下車、②番出口より北へ60m。同志社大学寒梅館地下1階。駐車場はございません。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

映画上映 + 監督&原案者ゲストトーク 決定!

# ポチの告白

高橋玄 監督作品

菅田俊 || 野村宏伸 || 川本淳市 || 井上晴美 || 井田國彦 || 出光元

製作:田村正蔵 || 高橋玄 プロデューサー:佐藤輝和 || 小高勲 || 高橋玄 原案協力:寺澤有  
脚本・編集:高橋玄 撮影:石倉隆二 || 飯岡聖英 照明:小川満 録音:西岡正巳 美術:石毛朗  
音楽:高井ウララ || 村上純 || 小倉直人 配給・宣伝:アルゴ・ピクチャーズ

2006年/日本/ビスタ/3時間15分 ©2008 GRAND CAFE PICTURES Corporation

<http://pochi-movie.com>

7/29 (水)

同志社大学寒梅館  
ハーディーホール

(入場無料・事前予約不要)

## プログラム

12:00 ~ 15:25

第1回上映  
舞台挨拶 (10分)

15:30 ~ 18:45

第2回上映

19:00 ~ 21:00

ゲストトーク

映画監督 高橋玄氏 + 原案者・ジャーナリスト 寺澤有氏



この国は、イヌだらけ。

## ゲストプロフィール



高橋玄 (たかはし・げん) 映画監督

1965年、東京都生まれ。祖父は日本アニメーション映画のパイオニア、数下泰次漫画家志し。高校在学中に講談社でついで賞入賞。柴門56 弘麻憲史のアシスタントを経て、85年に映画界に進出。東映東京撮影所の装飾助手として松田賢治監督『ア・ホームズ』(86年)の現場からキャリアをスタートさせ、92年に『心臓友』で劇場監督デビュー。以後『殺し屋茶屋』(93年)、『嘘の葬式』(95年)、『知床若太陽』(00年)、『レティファスティック』(01年)、『銀の男』(02年)、『CHARON』(05年)、『GOTH』(08年)などを監督。ハリウッドとコラボした2本の香港映画の特撮中のほか、オリジナル脚本による企画2本も準備中。



寺澤有 (てらさわ・ゆう) ジャーナリスト

1967年2月9日、東京生まれ。大学在学中の1989年からジャーナリストとして、警察官検 察 裁判所 弁護士会 検察官院 防衛省 記者クラブ 大企業などの取材と、なかには新聞の取材員としても活躍。過去2回、平井勝栄 (元警察官キャリア)・衆議院議員と消費者金融大手・武富士から各々投資で提供されるが、『どうも警察』著者(編著 井澤七彦)に、『警察官出入の禁止』(朝日新聞)、『PLI法が何をなすか』(朝日新聞)のドラッグ解決法(同)、『PLI法裁判』(三書房)、『警察官インターネットを封印する日』(メディアワークス)、『あまのりさんお金のトボロ』(同)、『交際の結末のカタチ!』(宝島社)、『全国警察官ランキング』(同)などがある。

■主催&お問合せ■同志社大学社会学部メディア学科浅野健一ゼミ TEL 075-251-3457

# この国には絶対逆らえないものが二つある。 天皇陛下と警察だ!

カネのために事件も作る……  
日本警察機構という闇の大企業の実態に、  
初めて克明に切り込んだ社会派映画の傑作である。  
**宮崎学**【作家】

長年私が取材してきた警察不祥事の数々が  
ベースにあり、どうしても登場人物が  
実在の人物と重なって見える。  
**寺澤有**【ジャーナリスト】

「俺たちは命をかけてお前ら国民を守ってやっている。  
この位のことをして何が悪い!」  
警察はそう思っている。ポチの正直な告白だ。  
でも、その腐敗不正を見逃してきた  
メディアや我々だって、ホチなのだ!  
**鈴木邦男**【水会・顧問】

私も現役外交官時代、  
上司に言われて偽造領取書を作成したり、  
闇ループルを扱ったりと犯罪行為に手を染めた。  
警察官でありつづけるために  
日常的に犯罪をおかす主人公タケハチの悲劇は、  
他人事ではない。冷や汗をかきながら映画を観た。  
**佐藤優**【作家・元外務省主任分析官】

## 完成から3年、封印された衝撃の真実が、今、明らかにされる——。

交番勤務の巡査・竹田八生は、タケハチと呼ばれ、市民と上司に信頼される実直な警察官だった。しかし刑事課長・三枝に認められ、刑事に昇任したタケハチは、実直ゆえに三枝の不透明な命令にも盲目的に従い、後輩刑事の山崎と共に、やがて気がつかないうちに警察犯罪の主犯格となっていく。

5年が過ぎた頃、タケハチは組織犯罪対策課長に昇任し、三枝に代わって暴力団と共犯で巨額の裏ガネ作りに暗躍していた。その矢先、タケハチの所轄で警視庁の現職刑事が殺害されるという事件が起きる。殺された刑事・兼頭は、三枝が指揮したかつての麻薬事件の黒幕だった。同じ頃、5年前にタケハチらに痛い目に遭わされた草間がフリージャーナリストとして舞い戻る。草間は、新聞記者の三枝とタケハチたちの警察犯罪を掴み、インターネットでゲリラ的な報道を開始するのだったが……

## 世界のマスコミが注目! 警察犯罪というタブーに挑む、社会派エンターテインメント大作

昨今多発する日本の警察犯罪事件の数々の実例を基に、良識ある巡査が警察の犯罪機構に巻き込まれながら悪徳に染まり、やがて自滅するまでを描いた、社会派エンターテインメント大作。警察問題ジャーナリストとして著名な寺澤有の資料と原案協力を得て、実際に起きた警察犯罪事件に正面から切り込むストーリーは、警察犯罪を報道できない日本の記者クラブ制度の問題をも照射しながら、同時に日本の警察、検察、裁判所、報道の癒着による国家ぐるみの犯罪が現実存在するという警察支配社会の恐怖を描く。

この野心的なテーマに、外国人ジャーナリストの聖地でもある社団法人・日本外国特派員協会が、同協会史上初めて映画撮影に全面協力。撮影中から海外の新聞が密着取材に訪れるなど、完成前から社会的な注目を集めてきた。

脚本・監督・編集・製作の高橋玄は、92年「心臓抜き」で劇場監督デビュー。04年「CHARON」が、ゆうばり国際ファンタスティック映画祭でファンタランド大賞(作品賞)を受賞。乙一のベストセラー小説の映画化「GOTH」を監督するなど、気鋭の映像作家。主演のタケハチに、「キル・ビル」「ラストサムライ」「SAKURA」などで、ハリウッドにも進出する実力派俳優・菅田俊、後輩刑事・山崎に「叫」の野村宏伸、他に井上晴美、川本淳市、出光元など演技派が顔を揃える。また、徹底した反警察ジャーナリズムで知られるベストセラー作家・宮崎学が、警察犯罪を隠蔽する裁判長役で出演している。

## ポチの告白 CONFESSIONS OF A DOG

高橋玄 監督作品

菅田俊 || 野村宏伸 || 川本淳市 || 井上晴美 || 井田國彦 || 出光元

水上竜士 || 宮本大誠 || 風祭ゆき || ガンビーノ小林 || 木下順介 || 山下真広  
松本孝輝 || 新井貴淑 || 時田望 || 李鐘浩 || 喜樂 || 河端保成  
吉田祐徳 || 岡村洋一 || 吉守京太 || 崔哲浩 || 澤田雅志 || 藤村忠生  
のむらゆみ || 塚本博一 || 新橋鳩美 || 北村榮基 || 並樹史朗  
朝田帆香 || ハンス・ヴァン・デル・ルフト || つしんめい  
宮崎学 (特別出演) || 寺澤有 (特別出演) || 張慶夫

製作: 田村正蔵 || 高橋玄 || プロデューサー: 佐藤輝和 || 小高勲 || 高橋玄 || 原案協力: 寺澤有  
撮影: 石倉隆二 || 飯岡聖英 || 照明: 小川満 || 録音: 西岡正巳 || 美術: 石毛朗  
助監督: 中西正茂 || 音楽: 高井ウララ || 村上純 || 小倉直人 || 制作担当: 小林孝幸  
製作: 株式会社グランカフェ・ピクチャーズ || 配給・宣伝: アルゴ・ピクチャーズ  
[カラー/日本/ビスタ/3時間15分] ©2008 GRAND CAFE PICTURES Corporation



報道され  
ない  
腐敗  
映画「ポチの告白」が  
暴いたもの  
マスコミの  
敬言「警察」と  
寺澤有

=== FILM DATA ===

2005年ゆうばり国際ファンタスティック映画祭出品・  
ファンタランド大賞・作品賞(観客賞第2位)

2006年東葛国際映画祭招待

2009年ニューヨーク「JAPAN CUTS」上映

「報道されない警察とマスコミの腐敗」  
映画「ポチの告白」が暴いたもの

寺澤有・著 インシデント・版 全国書店で「絶賛発売中」

公式サイトで、プロモーション動画を配信中!  
<http://www.incidents.jp/>